

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	山口市家庭教育支援チーム (呼称:徳地部チーム)
②活動拠点	徳地地区 ベース BASE ハチサン 83 (山口市サッカー交流広場内)
③活動範囲	山口市内
④組織体制	<u>4 人</u> 放課後児童クラブ支援員1名、地域学校協働活動推進員1名、 元山口市社会教育課家庭教育支援補助員1名、 一般社団法人(不登校支援)代表1名
⑤活動開始年度	2017 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 山口市教育委員会社会教育課 (TEL)083-934-2865 (E-mail)s-kyoiku@city.yamaguchi.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ☒ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) L ☐自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 ・保護者カフェの開設 小・中学校での保護者会等の機会を活用し、保護者同士の交流を図ることを目的としてカフェを設ける。保護者面談の合い間にほっとした時間を過ごしてもらえ、また、保護者同士貴重な情報交換の場となっている。 ・就学時健康診断等を活用した事業説明・家庭教育講座の開催 地域内の小学校が合同で行う就学時健康診断の際に本市家庭教育支援事業の説明を行う。また、家庭教育講座を開催することもあり、先輩保護者からの経験談を聞くとともに、各小学校間の横断的な交流の場にもなっている。 ・地域協育ネット協議会参加 地域の保育園、小学校、中学校、高校等の教育機関や、地域づくり協議会、交流センター等、地域に根ざした各機関、団体との連携や、情報共有の機会となっている。 ※チームのスタンス 家庭教育アドバイザーの名刺(市教育委員会より)と笑顔を携えて、将来の社会を担う子どもたちと、子どもたちを支える保護者の皆さまとつながっていきたいと思っている。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	就学時健康診断で、「よりよいしつけは、子どもへの贈り物」と題した家庭教育講座を開催した際、第一子が入学を迎える保護者からは、最初、不安や心配ごとが伝わって来たが、グループワーク終了の頃には、少し安心したような表情がうかがえた。悩みを話したり、先輩保護者から経験談や、ちょっとした工夫や知恵を聞いたりする等、保護者同士の対面での交流の機会の大切さを改めて感じた。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☒ 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築事業) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐ その他の支援により活動を実施 ()